

連携

第79号

栗原市立栗原中央病院
広報誌 令和3年8月発行
編集 地域医療連携室

病院の理念

わたしたちは、患者さまを第一に考え、いのちを大切にす最善の医療を行い、地域に貢献します

基本方針

わたしたちは、患者さまのことを考え、いのちを大切にします

1. 市民から信頼される、安全な医療を行います
2. 良質な医療を行うために、つねに新しい知識と技術を身につけるように努めます
3. 地域のニーズに合った医療を提供することで、地域に貢献できる病院をめざします
4. 地域の医療の中心として、ほかの医療機関との連携に努めます



地域医療連携室顧問就任 ご挨拶

地域医療連携室顧問 副院長 木田 真美

このたび栗原市立栗原中央病院地域医療連携室のメンバーになりました。皆様何卒よろしくお願い致します。

当院では「わたしたちは、患者さまを第一に考え、いのちを大切にす最善の医療を行い、地域に貢献します」と病院理念に掲げております。当地は高齢化の先進地域であり、医療の完結が望まれていることから、地域の皆様の『信頼』を得るべく連携を深めて参りましたが、そもそも連携って何でしょうか。

「連携」とは、一つの目的のために連絡を密に取り合い助け合って、協力して物事を行うこと。

「連携」の「連」は「つらなる」や「ならべてつなく」、「携」は「手をとるあう」という意味。いわゆる共同作業ですが、単に助け合う“協力”ではなく、共通の目的に向かい行動することなのです。

そして地域医療連携室とは、他の医療機関と

の入院・転院調整、受診・検査予約手配、医療情報や転帰報告などの前方支援はもちろん、福祉施設や介護サービス機関とも関わりを持ち、効率的な医療サービスの提供や、医療総合相談などの後方支援業務を行う部署。いろいろな職種の方々が、一人の患者様に対し、多方面からアプローチし、最善の方法を模索し、頭を悩ませながら目標に向かう姿は神々しく、頭が下がります。まさに『プロフェッショナル仕事の流儀』。NHKに取材に来てほしいぐらいです。

そのプロジェクトにかかわる機会を与えて頂き、光栄に思います。患者さまファーストでご本人・ご家族のご希望や生活背景を考慮し、地域のニーズにも合った医療を提供すると共に、地域に貢献できる病院を目指し、尽力していきたいと思致します。当院にかかってよかったと思って頂けるように。そして輪を広げ繋がっていきましょう。どうかお力添えをお願い致します。



人事異動

☆ 令和3年6月1日付 採用



内科医員
さいとう ゆう
齋藤 悠



臨床研修医
きむら ちひろ
木村 千尋



☆ 令和3年8月1日付 採用



内科副医長
くまがい さとし
熊谷 智

☆ 令和3年6月30日付 退職

内科医員 坂野 美紗子

令和3年度 第1回 栗原市立3病院地域医療連携実務者連絡会

栗原市病院事業 医療局 看護専門監 佐藤 工子

令和3年6月11日（金）今年度第1回目の会議を行いました。3病院の連携と顔の見える関係の構築を目的に年3回実施しておりますが、昨年度は新型コロナウイルス感染拡大により一度も実施できませんでした。新年度になり栗原市内の感染状況が落ち着いていることから実施するに至りました。

栗原市病院事業では、人口減少や新型コロナウイルス感染症の影響などにより令和3年4月1日より3病院の機能分化と病床数の適正化を実施いたしました。3病院の現在までの患者数や病床利用率、転院の受け入れ状況や患者紹介の状況、退院困難事例や問題点など共有することができました。



さらに新型コロナウイルス感染症による患者さんの入院の受け入れに際し若柳病院、栗駒病院が後方支援病院となったことから、栗原中央病院のコロナ病棟を見学して頂きました。コロナ禍であるからこそ、これまで以上に3病院が連携し問題や情報の共有が重要と考えます。



今後も感染対策をとりながら、少しずつ対面での会議や研修会など行い顔の見える関係を構築し、患者さんが安心して入院生活を送り、また地域（在宅）に戻っても安心して暮らせるよう3病院の連携を強化して参りたいと考えます。

自動精算機導入のおしらせ

当院では、感染防止対策と待ち時間短縮のため、自動精算機を導入いたしました。

—使用方法—

1. 受付票のバーコードを読取機にかざす。（診察券でも可）
2. お名前と金額が表示されますので、ご確認のうえ現金又はクレジットカードでお支払いください。
3. 領収書と明細書（選択した場合）が印刷され終了です。



職員によるサポートもご用意しておりますので、安心してご利用ください

栗原管内の高齢者施設における感染対策の現状調査等について

県内では新型コロナウイルス感染症の猛威が続いており、高齢者施設のクラスター発生もあります。一度高齢者施設でのクラスターが発生すると重篤になりやすい高齢者の発症者が増加し、県内の医療がひっ迫します。高齢者施設では長く続く対策による疲労とクラスター発生への不安を常に抱えています。

今回、栗原保健所の成人・高齢班では高齢者施設に対して不安や疑問などの聞き取りを行い、少しでも高齢者施設でのクラスター発生を防止する、陽性者が発生したときに速やかに介入を行えるようにと現状調査を企画しました。当院の感染管理認定看護師2名が依頼を受けて調査をともに行っております。

高齢者施設を訪問して感じたことは、“何を根拠にこの対策を行っているのか教えてほしい” “自分たちが行っていることは正しいのかを誰かに評価してほしい” “新しい情報や何か変わったことがあったときには教えてほしい” と思っているという事です。新型コロナウイルス感染対策のため外部からの訪問や集合研修など難しい現状ではありますが、感染対策の知識を深めることや実際に対応しているスタッフの不安を解消する事はとても重要なことだと感じました。



訪問した施設へは、どんな小さな質問でも研修会の依頼でも良いので、何でも相談してほしいと伝えています。いつでもどこでも訪問しますので、栗原中央病院の感染管理認定看護師を活用していただければと思います。遠慮なくいつでもご相談下さい。

文責：感染管理室 上野賀子

オンライン面会サービス

当院では令和3年1月より、入院患者さまとご家族さまを対象にオンラインでの面会サービスを開始しました。病院の1階フロアの一画に面会用のPCを設置し、各病棟と繋いでオンラインで面会を行っています。これまでに約50組が利用し、入院中の患者様と画面を通してではありますが、和やかに歓談しているようすが伺えました。顔が見えるだけお互いが安心して入院生活を送ることができているようです。

ご利用には**事前予約が必要**となります。お電話で入院病棟へご予約ください。

- ◆対象患者 歩行または車いすで移動できる患者様
- ◆予約受付 面会日の前日まで（土日祝日の受付は不可）
受付時間は 14：00 から 16：00 まで
- ◆面会時間 1日6組 15：00 から 16：00 《1回の面会時間は**5分間**となります》
①15：00～ ②15：10～ ③15：20～
④15：30～ ⑤15：40～ ⑥15：50～

※面会開始時間の5分前までに来院されない場合はキャンセル扱いとなりますので
ご注意ください

◆実施曜日

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
3階東病棟	3階西病棟	4階東病棟	4階西病棟	5階西病棟

◆電話番号

0228-21-5330（代表）

土日祝日は実施しておりません



整形外科外来からのお知らせ

令和3年10月より、整形外科肩外来の診療日が下記のとおり変更となります。皆様には大変なご不便をおかけいたしますが、何卒ご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

整形外科肩外来

【変更前】 毎週金曜日 ⇒ **【変更後】 毎週木曜日**

※ 初診の方は、紹介状が必要となります。診療時間に変更はありません。



◆学会・研修会・論文発表◆

- ☆ 第118回東北整形災害外科学会 2021.6.4（金）～6.5（土） WEB開催
MRIによるEden分類2型と3型の脊椎砂時計腫の鑑別
東北大学 整形外科 木村 礼
- ☆ 第56回日本小児科腎臓病学会学術集会 2021.7.9～10
高知市文化プラザかるぽーと（ハイブリッド開催）
CNI腎症の診断におけるDMSAシンチグラフィの有効性についての検討
宮城県立こども病院 総合診療科・腎臓内科 三浦 拓人

◆資格取得等◆

- ・日本心血管インターベンション治療学会 施設代表医 矢作 浩一
- ・認定看護管理者 佐藤 工子
- ・緩和ケア認定看護師 及川 美里
- ・日本結核 非結核性抗酸菌症学会 結核・抗酸菌症 指導医 宇佐美 修
- ・日本心血管インターベンション治療学会認定医 尾形 剛
- ・日本整形外科学会認定 整形外科専門医 木村 礼
- ・日本循環器学会 心不全療養指導士 澤邊 直美

（2021年春より認定制度がスタートしたばかりの資格です）



編集後記

期待と不安が交錯する東京オリンピックが1年越しに開催され、たくさんの選手の活躍で日本中が歓喜に湧きました。しかし、その半面コロナ感染拡大や連日の猛暑による熱中症の患者で、医療機関はひっ迫している現状であることも報道されていました。十分な感染対策をとっての開催だったとは言え、今後のさらなる感染拡大に危機感を隠せませんね。まずは自身の体調管理と感染予防に努めましょう。

栗原市立栗原中央病院

〒987-2205 宮城県栗原市築館宮野中央三丁目1番地

（代表）TEL：0228-21-5330 FAX：0228-21-5350

地域医療連携室

（直通）TEL：0228-21-5335 FAX：0228-21-5336

<http://www.kurihara-central-hp.jp/>